



## あなたも緑内障かもしれません!!

坂本 純平（眼科部長）

現在我が国での中途失明原因の第1位となっている緑内障は、詳細な緑内障疫学調査において、40歳以上の5%（20人に1人）前後に存在していることが明らかとなりました。また、そのうちの何と約90%が新規発見患者であり、我が国では未だに治療を受けていない緑内障患者が多数潜在していることも明らかとなっています。このように緑内障は人ごとではない病気の1つなのです。



付くようになります。この、病気が進行するまで症状を自覚しにくいという特徴に加え、緑内障による視野異常は治療をしても治らないことから、緑内障は早期発見、早期治療が大切な疾患であると言えます。

### 診断は？

このように、病気が進行するまで自覚症状に乏しい病気のため、緑内障のほとんどは人間ドックなどの健康診断や、別の症状で受診した眼科での眼底検査において偶然発見されます。発見後は精密な視野検査を行い、視野異常が生じていれば確定診断となります。

### 治療は？

緑内障で障害を受けた視神経を再生する治療方法はまだ開発されておらず、失われた視野を元に戻すことは出来ません。そのため現在の緑内障の治療は、「眼圧を下げる」ことで視神経にかかる負担を減らし、視野異常の進行を遅らせることを目標に行います。

眼圧を下げる手段には点眼薬などによる内科的治療と、手術による外科的治療の2つがあり、病気のタイプや進行具合などにより治療方法が選択されます。

### 最後に

緑内障は「失明する病気」「怖い病気」というイメージをお持ちの方が多いようですが、必ずしもその通りではありません。緑内障は一部を除いて進行は非常に遅く、適切に治療を行うことができれば失明することは稀で、通常の日常生活に支障をきたすことも少ない病気です。ただし、それには早期で発見されることが何よりも大切です。

過去の健康診断において緑内障を否定されたことのない方は、早めの眼科受診をお勧めします。

### 緑内障とは？

緑内障とは、眼球から脳へつながっている視神経が、眼球の奥にある視神経乳頭という部分で障害を受け、視野の中に見にくい部分（視野異常と言います）が生じてくる病気です。緑内障の原因として眼圧（眼球の内圧のことです）が高いことや遺伝、近視が強いことなどが言われていますが、はっきりしたものはまだわかりません。例えば、緑内障の原因となり得る因子として最も有名な眼圧に関しても、多少眼圧が高くても緑内障にならない方や、反対に眼圧が正常域であるにも関わらず緑内障になってしまう方も多く、眼圧だけが緑内障の決定的な原因とは言えないのです。

### 自覚症状は？

典型的なケースでは、視野異常は初め視界の中心部ではなく、中心から少し離れた部分から生じるのでほとんど自分では気付きません。やがて少しずつ中心に向かって進行していき、ものを見る真ん中近くまで視野異常が達すると極端に見にくくなるため、その段階でようやく視野異常に気